

毎回違う
内容です



ホームページ

立憲民主党 立憲民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町 1-11-1

三宅坂ビル7F

Tel.03-3595-9988

Fax.03-3595-9088



なんの 南野けいすけ議会報告

<https://keisuke-nanno.com/> ☎090-1911-4306

R7年第1回定例会代表質問④

第86号 発行日：2025年10月21日

第一回定例会にて

2025年2月21日から3月26日まで令和7年第1回定例会が開催されました。3月6日、7日には、会派代表質問が行われました。

今号はその第4弾です。

4 避難所の考え方について

◆南野敬介

現在、貝塚市の指定避難所は、市内の小中学校の体育館、高等学校の体育館、総合体育館などの公共施設が指定されています。これまでに小中学校の体育館の空調設備の整備など、避難所整備が進められてきたことは我々も求めてきましたし、その整備には感謝いたしております。

しかし、先日私は、一般社団法人ダイバーシティ研究所代表理事の田村太郎さんの講演をお聞きする機会がありました。そこで指摘されたのは、本来学校は子どもたちが勉強する場であって、避難所としてはふさわしくないという考えでした。避難所として使用しても一日も早く子どもたちに返してあげないといけないと指摘されました。私自身は、今まで学校の体育館が避難所と指定されることが当たり前であると思っていました。そのことをお聞きしたとき頭を殴られたような衝撃を受けました。

震災などの自然災害はいつ発生するかわかりませんし、ある程度は致し方がないとは思いますが、しかし運動場に仮設住宅が建ったりし、子どもたちの教育プログラムはどうなるのでしょうか。能登半島地震でも中学生が他市の中学校へ集団で通う姿が

報道されたりもしていました。真剣に考えなくてはならないとおっしゃっていました。

現実的な問題として、今すぐ学校の体育館を避難場所から外すことなど承知しております。

しかし、そういった視点で学校以外の避難所をできるだけ確保するよう考えるのも我々の仕事ではないでしょうか。

5年、10年かかるかもしれませんが、学校以外の避難所の確保に向けて検討する必要があると思います。いかがでしょうか、お尋ねいたします。

◎市長

小中学校は各地域にあり、地域住民がすぐに避難しやすい場所にあることや収容人数や建物の耐震性からも、指定避難所としては最適な施設であります。

南野議員ご指摘のとおり、学校の体育館は学びのための教育施設であり、本来の機能を阻害しないように避難所の運営については配慮する必要があります。そのような中、本市として昨年、能登半島地震の教訓から、学校の再開に向けて避難所の段階的な集約に努めることを地域防災計画に盛り込み、改定をしたところであります。

台風などの一過性の災害では短期間の避難で済みますが、大規模地震のような長期間にわたり避難生活を余儀なくされる場合



第1回定例会（3月議会）代表質問



党員募集 協力党員 (サポーターズ)

立憲民主党に参加して下さい。

○党員資格

党綱領及びそれに基づく政策に賛同し、草の根からの声に基づくボトムアップの政治を実践しようとする18歳以上の日本国民

お申込み方法	都道府県連又は総支部にて年間を通じ随時受け付け。
党員資格期間	4月1日を基準日とし、本部登録日から翌年度の5月まで。
党費	党員：年間4,000円(広報紙代含む) 協力党員：年間2,000円(広報紙代含む)
代表選挙投票資格	代表選挙において党員及び協力党員の投票が実施される場合の投票権を有する。

あなたのための政治

多くの方が直面する困難、社会の理不尽さ、将来への不安。この課題をしっかりと見つめて、誰もが安心する支え合いの社会を実現する。皆さんが主役です。私たち立憲民主党は「右でも左でもなく、前へ」、あなたとともに進みます。

時代の扉を開くのはあなたです。皆さん、一人ひとりの顔の見える政治へ。
立憲民主党には、あなたの力が必要です。

登録受付中!!

詳しくは南野まで
お問い合わせください。

090-
1911-4306

もございます。そういった場合、小中学校の体育館の使用はやはり学校が再開されるまでの一定期間にとどめたいわけであり、そのための集約をしていく。そのために、やはり指定避難所の次の居場所の確保を当然としていく必要がござい

そのために、次の新たな場所の提供として、みなし仮設住宅と言われる供給の早い民間住宅の借り上げ、あるいは公共が設置する仮設住宅への移動というところまで、こういったところを早く措置すること、それからもう一つは心の問題です。避難者が孤立・孤独に陥らないよう保健師の巡回など

貝塚市議会YouTube



YouTube録画配信しています

◎危機管理部長
大規模地震の災害の後に長期間にわたって避難する必要がある場合、学校の避難場所等、市のほう

の福祉的ケアも考慮しながら、指定避難所の次の居場所の確保に努めてまいります。
◆南野敬介
今日言っている明日でなくなる。将来的に次の避難所を市で持てるような場所があるのであれば、そちらを優先的に避難所に指定するだとか将来ビジョンを検討しないといけない。少しでも早く学校は子どもたちが返していくという視点が必要だと思っております。が、改めてその辺を聞かせてください。

議会報告ニュース のバックナンバー



<https://keisuke-nanno.com/keisuke-news/>



◎教育部参与
学校が一次避難所になることは、やむを得ないと考えています。恒常的に使っているものでないと、なかなか避難所としては設定しにくいだろうと思っております。教員もやはり役所の人間でもありますし、一定役割を果たすことも必要な場面もあるかと思っております。やれる範囲でやりたいと考えております。

◆南野敬介
学校を使っている教育委員会としての見解は何かお持ちでしょうか。
で確保に努めていくということとで考えてございます。



ブログ



貝塚市議南野
fadcebook



南野けいすけ
fadcebook



ツイッター



Instagram



タイムライン



LINE@